

## CPCNEWS No.341

## あすへ 5月号

昨日よりも今日 今日よりも明日

## 中国労組生産性会議 2025年度役員会を開催

中国労組生産性会議（議長：大野真人 連合広島会長）は4月14日（月）、2025年度役員会をワークピア広島（広島市）で開催しました。

初めに、「2024年度事業報告」「2025年度事業計画（案）」について審議し、原案どおり承認されました。その後、叡啓大学 ソーシャルシステムデザイン学部 教授 早田 吉伸 氏に「企業経営とこれからの人材育成」と題して、不確実性の時代に求められる企業変革や人材育成について、自身のこれまでのキャリアや研究などをもとにご講演いただきました。

## 【大野議長 開会挨拶 要旨】

平素の中国労組生産性会議の事業運営に対するご支援ご協力に感謝申し上げます。

本日は、「2024年度の実業報告」および「2025年度の実業計画(案)」について、役員の方々に御報告する。2025年度の活動が一層実りあるものとなるよう、忌憚のないご意見をお願いします。

さて、現下の労使を取り巻く環境について、本年2月末に、厚生労働省から2024年の国内の出生数（外国人含む）が速報値として発表されたが、出生数は72万人余りで、1899年の統計開始以降最小かつ、9年連続の減少であった。更に6月ごろに発表される日本人のみの出生数は70万人を割り込む公算が大きく、足元では企業は既に採用難に直面しており、労働力不足は加速するとみられる。

労働力不足を補うには、高齢者や女性が今以上に社会進出し、外国人労働者などの人材確保に向けた取組みが重要になる。一方では、デジタル技術の導入などにより付加価値を生み出し、生産性を向上させなければならない。

また、職場で活力をもって働くためには、賃上げをはじめ、多様な働き方が選択できる労働諸条件の向上、言い換えれば「人への投資」の継続こそが、将来の生産性向上の源泉となる。



大野議長による開会挨拶

## 今月のラインナップ

## TOPIC 1

中国労組生産性会議  
2025年度役員会を開催

## TOPIC 2

西日本生産性会議（第53回）  
福岡開催のご案内

## TOPIC 3

2025年度新入社員研修会開催  
～社会人としての心構えと  
態度を身につける～

## 伝言板

今後のセミナー情報

中国生産性本部

CHUGOKU PRODUCTIVITY CENTER